

令和7年度

60TH
ANNIVERSARY

第60回 全国高等学校体育連盟

研究大会報告書

常識をアップデート!

～部活動の新たな視点を探る～



◆ 期 日 令和8年1月15日(木)・16日(金)

◆ 会 場 岡谷鋼機名古屋公会堂

◆ 主 催 公益財団法人 全国高等学校体育連盟

◆ 共 催 読売新聞社

◆ 後 援 スポーツ庁 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 愛知県公立高等学校長会
愛知県私学協会 公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛知支部

◆ 主 管 公益財団法人 全国高等学校体育連盟研究部
愛知県高等学校体育連盟

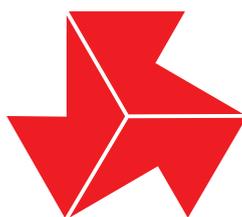




第60回全国高体連研究大会 愛知県大会
成功に向けて！

- 少数精鋭で取り組む
- 経費節約に努める
- 黒子に徹する
- 「おもてなしの心」を忘れない
- 「チーム愛知県高体連」で阿吽の呼吸





令和7年度 第60回全国高等学校体育連盟 研究大会報告書

「常識をアップデート！」

～ 部活動の新たな視点を探る ～

期	日	令和8年1月15日(木)・16日(金)
会	場	岡谷鋼機名古屋公会堂
主	催	公益財団法人全国高等学校体育連盟
共	催	読売新聞社
後	援	スポーツ庁 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 愛知県公立高等学校長会 愛知県私学協会
主	管	公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部 公益財団法人全国高等学校体育連盟研究部 愛知県高等学校体育連盟



ごあいさつ

公益財団法人全国高等学校体育連盟 研究部
部長 高 取 克 明

令和7年度第60回全国高等学校体育連盟研究大会を愛知県名古屋市の岡谷鋼機名古屋公会堂で開催致しました。「常識をアップデート！」～部活動の新たな視点を探る～がテーマでした。新しい時代の課題を解決に導くための部活動に対する考え方や視点を明確に示したテーマであったと思います。

開会式後に行われた課題研究では、パネルディスカッションとして、名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授内田良氏、早稲田大学スポーツ科学学術院教授中澤篤史氏、読売新聞社編集局編集委員田中富士雄氏をお迎えし「外から見た部活動の現状と未来」と題して、講義・提言が行われました。私たち指導者が、科学的・社会的見地から、部活動の意義や今後の活動の方向性に及ぶ具体的な影響や視点、課題や指導の在り方について確認することができ、部活動の過去・現在・未来を検証する考え方や現在社会における部活動の立ち位置を考える重要性について一層意識が高まる内容でした。課題研究後のアトラクションは、愛知県の2校（愛知県立旭丘高等学校ダンス部&トーチ部、愛知工業大学名電高等学校チアリーディング部）によるパフォーマンスがありました。当日はダンス部、トーチ部、二部合同演技の三部構成演技とチアリーディング部の元気と感動、迫力あふれるレベルの高い演技で、この研究大会をおおいに盛り上げていただきました。また、60周年記念大会を大いにアピールする演出でこの研究大会の歴史と伝統を感じる瞬間となりました。発表された生徒の皆さんや御指導頂いた先生方、関係の皆様方には敬意を表するとともに感謝の辞を述べたいと思います。

午後から行われた分科会では、第1分科会「競技力の向上」4本（岩手県、新潟県、三重県、高知県）、第2分科会「健康と安全」4本（広島県、静岡県、香川県、山梨県）、第3分科会「部活動の活性化」4本（群馬県、山口県、秋田県、愛知県）の発表が行われました。全ての発表から部活動の新たな可能性や多様性を発信し、持続可能な部活動の新しい取組へとつなげようとする有用性の高いメッセージが伝わってきました。

2日目は、スポーツ庁地域スポーツ課課長鈴木文孝氏から主に「部活動の地域移行から地域展開への変遷、現状と課題について」の講義をいただきました。

また、講演として、日本オリンピック強化スタッフ（陸上競技）、日本学生陸上競技連合強化委員などを歴任され、日本スポーツ界を牽引されている名城大学教授、女子駅伝部監督米田勝朗氏から「世界で戦える女子長距離ランナーの育成」～管理型指導と自主性重視型指導の違い～をテーマに御講演をいただきました。名城大学女子駅伝部の創部から現在までの学生たちとの練習や日常の生活を通したかかわり方など、オリンピック育成までのエピソードを通じてスポーツの持つ可能性や課題、練習・指導のみではなく教育活動全般について示唆に富む内容であり、これからの我々の現場での指導においておおいに参考となる内容でした。

まとめとして、今大会の報告書に記載されております課題研究や分科会の研究発表、講義、講演の詳細等を、各都道府県の研究部を中心に全国の多くの指導者に伝達し、活用していただくことによって全ての子どもたちが輝ける持続可能な部活動として次代に引き続き、各専門部競技活動との両輪としての役割・発展を遂げていくことを期待しています。

結びに第60回愛知県研究大会の準備や運営に御尽力いただきました愛知県実行委員会をはじめ、共催の読売新聞社、御後援いただいたスポーツ庁、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、愛知県公立高等学校長会、愛知県私学協会、公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部に深く感謝申し上げます。また、御多用の中、各分科会で御指導、御助言をいただきました皆様、進行等を担当していただきました進行役の皆様、そして、本大会の開催に関係された全ての皆様に御礼ならびに感謝申し上げます。部長挨拶といたします。



御礼のことば

第60回全国高等学校体育連盟研究大会

愛知県実行委員会 会長 山 脇 正 成

第60回全国高等学校体育連盟研究大会愛知県大会は、令和8年1月15日・16日に、「常識をアップデート！～部活動の新たな視点を探る～」を研究主題として、歴史と産業が未来を拓く愛知の中核 名古屋市において開催いたしました。

スポーツ庁をはじめ、多数の御来賓並びに関係の皆様をお迎えし、多くの皆様方の御尽力の下、実り多い大会を実施することができました。本大会にお寄せいただきました御支援・御協力に対し、深甚なる感謝を申し上げます。また、先催県である鳥取県及び埼玉県実行委員会の皆様には、貴重な資料や有益な情報の御提供のみならず、懇切丁寧なる御指導・御助言を賜りました。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

初日は、開会式に続き、「外から見た部活動の現状と未来」と題し、名古屋大学 内田良教授、早稲田大学 中澤篤史教授、読売新聞社 田中富士雄氏をパネリストに迎えたパネルディスカッションが行われました。部活動改革の背景や現状と課題、さらに今後の在り方について示唆に富む意見交換がなされ、部活動運営に関する知見や改善のための視点を御教示いただきました。

また、昼のアトラクションでは、「愛知県立旭丘高等学校ダンス部&トーチ部」及び「愛知工業大学名電高等学校チアリーディング部」による創造性あふれるダンスや躍動感のある演技が披露され、参加者の皆様へ熱いエールが笑顔とともに送られました。

午後の分科会では、「競技力の向上」「健康と安全」「部活動の活性化」をテーマに、12題の研究発表が行われました。地域との連携を生かした取組など、新たな視点を交えた発表も多く、今後の発展につながる貴重な学びの場となりました。指導助言者並びに司会者の皆様に感謝申し上げますとともに、長年にわたり試行錯誤しながら実践を重ねられ、今大会に向けて周到に準備してこられた発表者の皆様に、深く敬意を表します。

大会2日目は、研究発表の報告に続き、スポーツ庁地域スポーツ課長 鈴木文孝様より、「部活動改革及び部活動中の体罰等の防止等」について御講義を賜りました。さらに、記念講演では、名城大学女子駅伝部監督の米田勝朗様に、「世界で戦える女子長距離ランナーの育成～管理型指導と自主性重視型指導の違い～」と題して、トップアスリートを育成するための環境整備や中長期的な計画、選手の自主性を重視した指導方法などについて、御自身の経験を交えながら御講演いただきました。

最後に、研究発表の中から優秀研究3名の表彰並びに閉会式を執り行い、成功裡に大会を終えることができました。

本研究大会の開催に当たり、共催いただきました読売新聞社、後援いただきましたスポーツ庁、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、愛知県公立高等学校長会、愛知県私学協会、公益財団法人日本教育公務員弘済会愛知支部に対し、厚く御礼申し上げます。また、運営に御尽力いただきました公益財団法人全国高等学校体育連盟事務局、同研究部、東海高等学校体育連盟、愛知県実行委員会運営委員の皆様、アトラクションで演技いただいた旭丘高等学校及び愛知工業大学名電高等学校の皆様、さらには大会を支えてくださいましたすべての皆様に、謹んで感謝の意を表します。

結びに、来年度開催される第61回大分県大会が一層実り多きものとなりますことを祈念し、開催県としての御礼の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

目 次

あ い さ つ

「ごあいさつ」	公益財団法人全国高等学校体育連盟研究部 部長 高 取 克 明
「御礼のことば」	愛知県高等学校体育連盟 会長 山 脇 正 成

大会記録写真

開 会 式	1
-------------	---

課 題 研 究	3
---------------	---

パネルディスカッション「外から見た部活動の現状と未来」

名古屋大学大学院教育発達科学研究科	教授	内 田 良
早稲田大学スポーツ科学学術院	教授	中 澤 篤 史
読売新聞東京本社編集局運動部	編集委員	田 中 富士雄

アトラクション	19
---------------	----

分科会研究発表

【第1分科会】 競技力の向上

- ① ACWR を用いたトレーニング負荷計画の作成とピーキングに関する考察
岩手県立南昌みらい高等学校 及 川 雄 輝 …… 25
- ② バレーボールにおける小中高一貫指導の試み
～佐渡島から全国大会へ～
新潟県立佐渡高等学校 源 氏 篤 史 …… 29
- ③ スポーツの“価値”意識の醸成が“勝ち”につながるのか
三重県立川越高等学校 酒 井 佑 紀 …… 35
- ④ 高知県力ヌーチームの挑戦
～活性化から競技力向上へ～
高知県立須崎総合高等学校 長 井 海 斗 …… 41
- 全体指導助言
中京大学スポーツ科学部 准教授 後 藤 晃 伸 …… 47

【第2分科会】 健康と安全

- ① 運動部活動における障害の予防
～生徒が自ら主体的に心身の健康を保持増進し、
豊かなスポーツライフを実現するために～
尾道高等学校 田中春助
広島県立総合技術高等学校 岩田侑士 …… 51
- ② 「顧問は辛い!？」 今こそ考える部活動運営の well-being
～昭和、平成、令和における顧問の意識変化と今後の部活動のあり方～
静岡県立浜松湖南高等学校 木村剛典 …… 57
- ③ 香川県高校生の部活動所属別に見た実態調査
香川県立香川東部支援学校 上田将人 …… 63
- ④ スピードスケート競技における安全対策について
～ルール作りから考える～
山梨県立富士北稜高等学校 千葉瞭太郎 …… 69
- 全体指導助言
名古屋学院大学スポーツ健康学部 教授 丸山洋生 …… 75

【第3分科会】 部活動の活性化

- ① 部活動の未来を探る
～水球の先進的ハイブリッドモデル【クラ部】の取組～
群馬県立前橋商業高等学校 志賀 諭 …… 79
- ② 生徒の主体的な組織的活動が部の活性化につながる
～活性化にともなう新たな視点～
山口県教育庁学校安全・体育課 西尾 泰 …… 85
- ③ 陸上競技 長距離種目の記録会を盛り上げ ランナーの活性につなげる
～長距離種目のイベントが競技人口と競技力に影響があるか～
秋田県立大館鳳鳴高等学校 児玉弘幸 …… 91
- ④ 地域連携が拓く部活動の未来図
愛知県立阿久比高等学校 若子雄大 …… 95
- 全体指導助言
東海学園大学スポーツ健康科学部 准教授 黒須雅弘 ……101

全 体 会

【各分科会報告】

- 第1分科会司会者 静岡県高等学校体育連盟 理事長 片山直恵 …105
第2分科会司会者 三重県高等学校体育連盟 理事長 宮本真輝 …107
第3分科会司会者 岐阜県高等学校体育連盟 理事長 三浦昇太郎 …109

【講 義】

- スポーツ庁地域スポーツ課 課長 鈴木文孝 …113

講 演

「世界で戦える女子長距離ランナーの育成」

～管理型指導と自主性重視型指導の違い～

- 講 師 名城大学法学部教授・女子駅伝部監督 米田勝朗 …129

表 彰・閉会式 155

大 会 資 料 157

- 開催要項 158
令和7年度第60回全国高等学校体育連盟研究大会役員 161
愛知県実行委員会・運営委員会 162
都道府県別参加者一覧 163
令和7年度第60回全国高等学校体育連盟研究大会 開催経緯 164

編 集 後 記

- 愛知県高等学校体育連盟 理事長 鈴木政之 ……167